

平成 23 年度 福岡市におけるインフルエンザの流行状況

保健科学課 ウイルス担当

福岡市における 2011/2012 シーズン（平成 23 年度）のインフルエンザ様疾患の集団発生は 2012 年第 2 週（1 月 9 日）から流行が始まった。集団発生は、第 5 週目、6 週目にピークが認められた（図 1）。福岡市内における集団発生は計 255 施設で発生し、患者数は 3,217 人であっ

た（表 1）。2010/2011 シーズンの患者数（2,488 人）と比較し増加した（表 2）。

感染症発生動向調査においては、第 52 週目あたりから患者数が増加し、流行のピークは集団発生とほぼ同時期の 2012 年第 6 週目であり、その後は終息に向かった（図 2）。

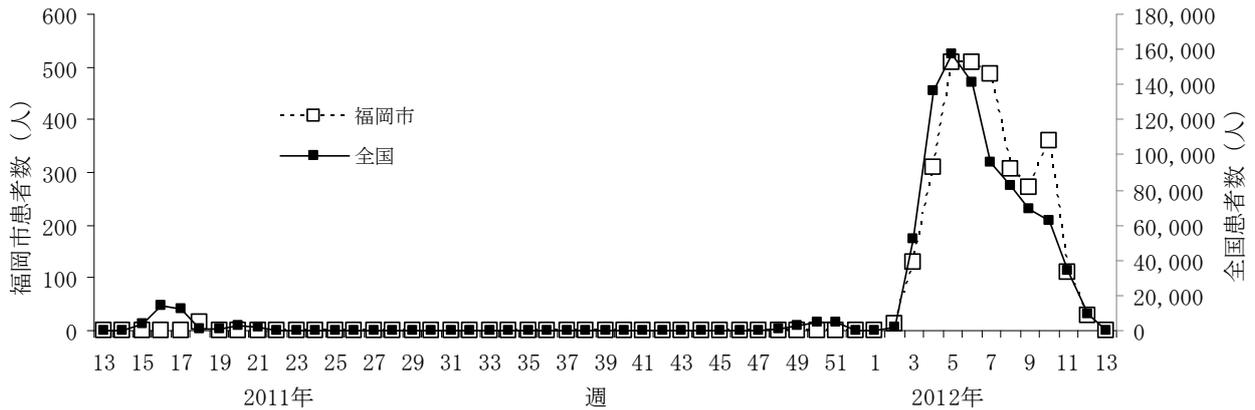


図 1 インフルエンザ様疾患集団発生患者数

表 1 集団発生事例における施設別発生状況

施設	発生施設数	在籍者数	患者数	休校数	学年閉鎖	学級閉鎖
幼稚園	71	2670	890	6	1	64
小学校	150	4814	1835	0	5	145
中学校	25	1707	419	0	6	19
その他	9	194	73	0	0	9
計	255	9,385	3,217	6	12	237

表 2 過去 5 年間の年度別集団発生患者数

年度	2007	2008	2009	2010	2011
患者数	637	1,560	19,439	2,488	3,217

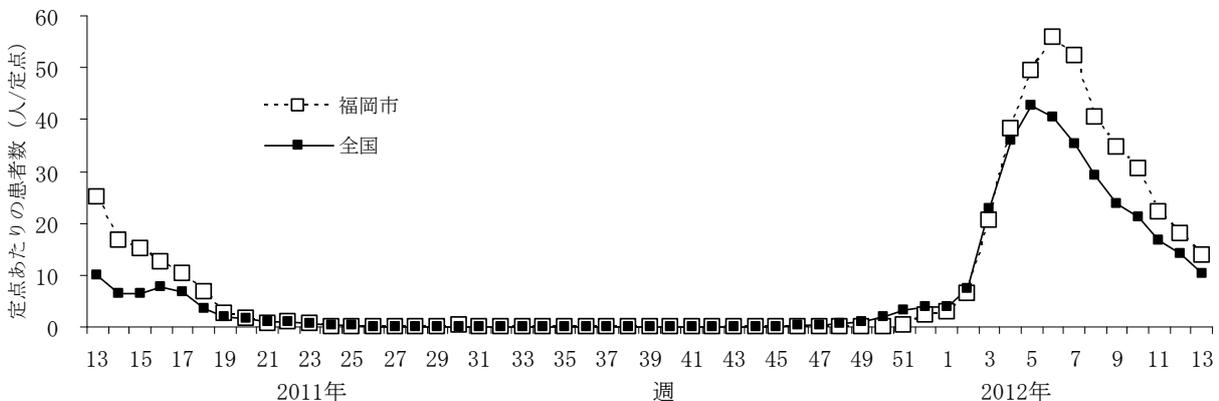


図 2 感染症発生動向調査患者定点あたりのインフルエンザ患者報告数

感染症発生動向調査からのウイルス分離は AH3 型が 11 株、B 型が 4 株であった(図 3)。2010/2011 シーズンは A/H1N1pdm 型、AH3 型、および B 型による流行がみら

れたが、2011/2012 シーズンは AH3 型、B 型による流行であった。

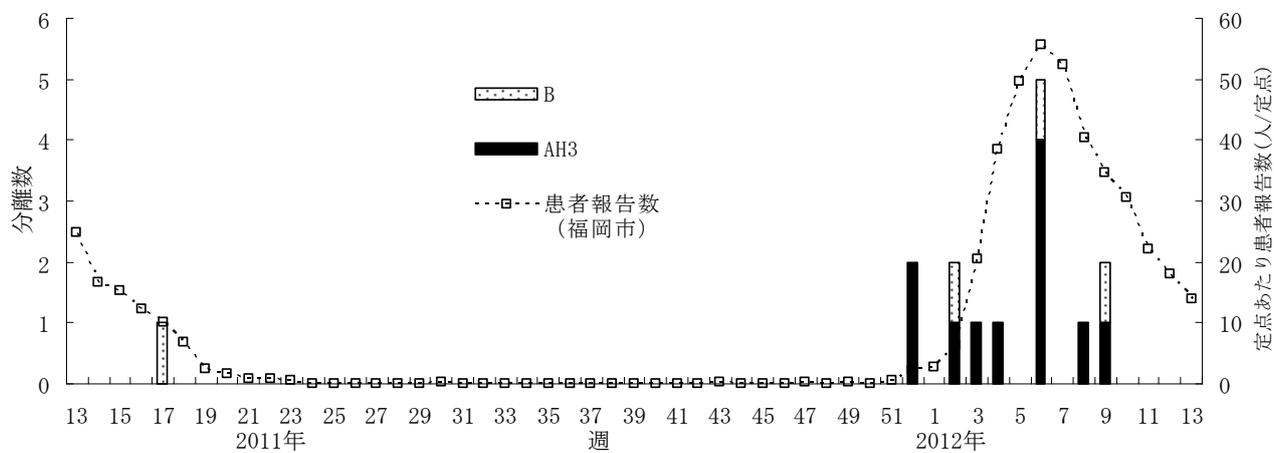


図 3 福岡市における感染症発生動向調査患者定点あたりのインフルエンザ患者報告数とウイルス分離数